

子どもは地域で育つ、おとなは地域で手をつなぐ

少子化、核家族化、地域の連帯つながりの希薄化など著しい社会環境の変化は、青少年の生活にも大きな影響を及ぼしています。不登校、怠学、校内暴力、メディアを使ったいじめ、少年犯罪など青少年をめぐる問題は、複雑化、多様化しています。

このような状況のなかで、学校・家庭・地域社会との相互連携、協力を深めることが肝要であり、青少年の真の自立と社会性を育てるとともに、心豊かで健やかに成長するための環境づくりを推進し、青少年の健全育成を図ります。

基本的な施策

- ◇ 関係機関との連携強化
- ◇ 不審者への対応
- ◇ 相談機能の充実
- ◇ 津山市教育相談センター「鶴山塾」の機能強化
- ◇ ふるさと津山を愛する親子育成支援事業の実施

(1) 関係機関との連携強化

青少年がいきいきと安心して安全に生活できる地域社会の構築と青少年の生きる力を育むため、津山っ子を守り育てる市民の会、津山市青少年育成指導委員、津山市連合町内会、津山少年サポートセンター、津山市PTA連合会など青少年健全育成団体との連携強化を図り、学校・家庭・地域社会・行政がお互いに連携・協力しながら青少年の健全育成を推進します。

(2) 不審者への対応

年々増加している、不審者からの犯罪被害を防止するため、津山警察署、津山少年サポートセンター、各地区の見守り隊との連携協力を密にし、巡回指導の強化を図ります。

(3) 相談機能の充実

子どもの悩みや保護者の悩みを解消するため、適応指導教室「ポポロつやま」、津山市教育相談センター「鶴山塾」、津山市青少年育成センターなどの相談・助言・支援活動の充実を図ります。

(4) 津山市教育相談センター鶴山塾の機能強化

子どもや保護者の悩みの課題解決に向けて、個々に応じた継続的な支援活動の充実を図ります。市民・教職員・関係機関との連携を図り、青少年健全育成のための啓発活動を行います。

(5) ふるさと津山を愛する親子育成支援事業の実施

平成20年度の「津山で育ってよかった津山っ子育成アピール」の趣旨を受け、ふるさと津山を愛する親子支援事業に引き続き取り組みます。

